

令和2年度第2回学校評議員の会が開催されました。

日 時： 令和3年2月15日（月） 15：30～17：00  
場 所： 堅田高等学校 校長室  
出席者： 学校評議員 西委員 永田委員 白尾委員 岡田委員 加藤委員  
学校 藤支校長 辻教頭 藤田教務主任  
善村生徒指導主任 西村進路指導主任  
山本1年学年主任 前田2年学年主任  
岡崎3年学年主任

(欠席者) なし

#### <次 第>

##### 1 校長挨拶

授業参観にて雰囲気を確認いただいた。コロナの対応がありながら、体育祭や修学旅行の実施などで成果を上げることができた。1,2年学年末考査に向けて学習しているところである。推薦選抜は、募集1.23倍であった。部活動では、ウエイトリフティング部が全国選抜大会に女子2名の出場を決めた。コロナによって、ICT環境の整備がなされつつある。あわせてトイレの改修の工事も予定され、換気扇や網戸なども整備することができた。衛生面でも施設が充実しつつある。

##### 2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介 各委員、出席者の紹介

##### 3 今年度の取り組み現況と課題について

- (1) 学校経営全般について ……校長より  
冒頭でのあいさつと兼ねる
- (2) 学習指導について ……教務課より
  - ・落ち着いた雰囲気での授業が行われている。
  - ・コロナによる臨時休校により、1学期を7月31日まで延長し2学期の始業式も8月17日からとした。また学校行事の削減や、土曜日日曜日も授業日とした。学力保障の面では、例年通りの授業数は確保できた。
  - ・国や県の施策により、オンライン・ICT教育の環境整備の充実として、HR教室のWi-Fi整備、チームズの導入などがはかられた。チームズでは、生徒への各行事での振り返りアンケートや、連絡事項、課題の解答の配布などを行っている。今後は、対面授業の中で、どのようにこれらの機器を活用していくことができるかが課題である。教員もさらに授業改善に取り組む必要がある。
  - ・1,2年生で新しく探究の学習について取り組んでいる。1年生では堅田探訪を、探究活動と連携させた。来年度は3年生でも、探究の学習を進めて、言語活動・表現活動の活性化をはかっている。
- (3) 生徒指導について ……生徒指導課より
  - ・コロナ感染症の影響により、通学路マナーの指導が、4月当初実施できずに課題が残

った。地域の方から連絡をいただき、通学路の再確認と立ち番を実施し、少しずつ指導の成果が出ている。生活指導面での問題行動は減少している。

- ・教育相談の面では、いじめに対するアンケートを実施し、教員との面談を丁寧に進めている。
- ・授業は、予鈴での準備ができています。
- ・部活動では、ウエイトリフティング部や理科部の全国大会での活躍が期待されている。
- ・生徒が答えているアンケート結果を見ると、少しずつ学校に対する生徒の満足度の高まりがみられるため、今後もあじみ指導を基本に継続した指導を行っていききたい。

(4) 進路指導について ……進路指導課より

- ・進路行事の日程変更があった。大学入試の変化に対応が求められる1年であった。
- ・ポートフォリオで、堅田高校での活動歴をまとめたものを作成するようにしている。
- ・進路実現を目指すために、資格検定試験にチャレンジできる環境を整えている。
- ・進学就職へ向けて3年生が良く頑張った。補習や講座による学力の底上げや、管理職や分掌主任などにも加わっていただいて面接するなど、学校全体で生徒の進路実現の支援をすることができた。進路状況として合格者の数などを報告する。大学 114 名。短大 26 名。看護専門学校 17 名。就職 24 名。学校斡旋は 22 名。求人数は 3 割減であったが全員希望進路をかなえることができた。現在未定 4 名。さらに進学 10 名ほどは、上を目指してチャレンジ中である。
- ・1、2年の進路行事もこの後、計画している。
- ・4月からギガネットワーク環境が整備されるので ICT を活用したキャリア教育を目指している。進路情報収集ツールとして、生徒には、夢ナビ・ベネッセハイスクールオンラインや学習支援のスタディサプリを活用させている。今年度の活用はまだまだ不十分だったので今後改善していきたい。

(5) 生徒の学習状況や生活状況について ……各学年より

- 3年…部活動の最後の大会が中止になった。体育祭もパフォーマンスは実施できた。春の校外学習を秋にするなど変更、工夫できた。3年生のうち47名が皆出席である。早朝のある4、5組でも28名いる。簡単に休む生徒もいる中で、学校にしっかりと登校する生徒がいることは評価できる。進路も粘り強く、行きたい学校を目指す生徒が増えている。
- 2年…おおむね落ち着いている。その中で、不登校気味の生徒もでてきている。緊急事態宣言中にたくさんの課題を出した。夏休みの短縮もあって、授業は逆に早く進んでいるところもある。学校生活に疲れが見えるのもやむを得ないところがあるかもしれない。
- 1年…2学期中程は、落ち着きがないときがあった。一方、地域の方の助けをしたということでおほめをいただくこともあった。不登校が続いている子がいるので、生徒や保護者と連絡を取り合いながら進めていきたい。

(6) 入学者選抜について ……教頭より

推薦選抜募集定員 60 人中 74 人が受検した。学校の魅力発信を充実させる。

- (7) 学校評価と改善策について …… 教頭より  
学校評価にかかる評価シートの資料の説明。各評定についての説明。特徴的なところを紹介。保護者からの要望は、自由記述の部分をまとめたものを紹介。  
R2 年度学校改善策実施状況と学校評価の確認をする。

- (8) その他

#### 4 校務運営に係わる意見交換

- ・学校評議員からの提言等

○：学校評議員の提言（意見）や質問

●：学校側の発言

○いじめのことについて、どういふのがあるか。

●相談で聞いている中では、からかいや、部活動の悩みがある。また、友達関係でこじれたときに SNS でのトラブルになることがある。SNS は文章でのコミュニケーションとなるため、微妙なニュアンスが伝わらないことが多く、課題がある。

○教員の電話の対応に不満の声を聞いている。

●丁寧にしていきたい。

○保護者アンケートに記載のあるヒートテックや防寒着について確認したい。

●ヒートテックが禁止とは言っていない。言葉不足で伝わっている。防寒着は、ブレザー着用の上、派手すぎないものであれば許可している。進路の面接などで通用するかが判断基準である。

○プロジェクターなどの ICT 設備について、今後の予定はどうなのか。学校間格差はあるのか。

●ホームルーム教室に整備される方向である。県立学校でも学校間の設備の差はある。

○生徒のスマートフォンの使用について、どのようにしているのか。

●授業中使用した生徒を、指導する件は 1 件あった。全体的にはいないように思われる。けじめはついているのではないか。授業によっては、スマートフォンを利用し、調べたりすることもある。

○転学や通信制について、どういふものがあるのか。

●単位制に転学すると、ここでとった単位はそのまま引き継ぐことができる。

○進路の未定者について、例年と比べるとどうか。

●今年は少ない傾向であるようだ。

○アクティブラーニングについて、言語活動を取り入れた授業をしているのか。

●今日の参観授業では、言語活動が少なかつたが、1 時間の間にグループ活動を入れる場合もある。本日は、テスト前ということもあり、時期的なものもある。

●ありがとうございました。

#### 5 校長謝辞